



長野市教育委員会事務局 学校教育課 指導主事
大日方正壽 先生

見えてきた最新の事情

長野市が毎年行うスマホ等
利用実態調査で

長野市教育委員会は、『事例で学ぶNetモラル』を導入し、各学校に授業での活用を働きかけています。この教材のどこが便利なのか、授業で使ってもらうために、市教委としてどんな手立てを講じているのか。長野市教育委員会事務局学校教育課指導主事の、大日方正壽先生に、語っていただきました。

長野市では毎年、小学校五年生から中学三年生までを対象に、スマホやインターネットの実態調査を行っています。所有率や利用頻度、時間、使用目的などをアンケートで調査するのですが、昨年度の調査では「低年齢化」の傾向に拍車がかかっていることが判明しました。スマホ所有率もインターネット利用率も、小学校五・六年生の間に急騰し、高止まりのままだ中学生に移行しているのです。

このような「低年齢化」に対応するためにも、情報モラル教育も小学生のうちから行う必要があります。しかし、現場の先生方は情報モラル教育に苦手意識があります。主な原因は、

- ①情報モラル教育を受けた経験がないので、何を教えればいいのか、わからない。
- ②児童生徒の間で流行しているアプリやSNSに疎いため、そこにどんな問題が

潜んでおり、どう指導し、どんな力を身に付けさせればいいのかわからない。

そこで長野市では、九年前に『事例で学ぶNetモラル』を導入しました。この製品の良いところは、①アニメーション教材に授業計画案などの指導資料がついているので、情報モラル教育を行ったことがなくても、誰でも簡単に授業を行える。

②スマホやネットの最新の流行と、その課題を反映した教材を毎年アップデートしてくれるので、スマホやネット事情に詳しくなくても大丈夫。

③事例がバリエーションに富んでおり（七二事例）、児童生徒の課題に合わせて授業を行え、その対処法を学べる。また読み物教材があるので、道徳の授業で行いやすい。

先生方が抱えている、情報モラル教育への苦手意識を解消してくれる教材です。

情報モラル教育の実施を促すために 長野市教育委員会が とった方法

しかし教材を導入しても、実際に授業で使ってもらわなければ意味はありません。そこで長野市教育委員会では、さまざまな取り組みを行っています。

①『事例で学ぶNetモラル』の実施データを調査し、学校への支援に活かす

市教委のサーバに『事例で学ぶNetモラル』を置き、市教委のポータルサイトから利用できるようにしました。普通教室の教師用PCから校内LAN経由でアクセスできるので、PC教室に移動する手間が省け、実施しやすくなりました。また、どの学校が、いつ、どの教材を利用したかなどのデータを取れるようになったので、このデータを学校への支援に活かしています。

②市教委主催の研修でワークショップ
情報モラルとは、何度も繰り返し学び、定着していくものです。市教委としても、情報モラル教育を

単発で終わらせずに、年間を通して計画的に実施してほしいと考えています。そこで市教委主催の研修では、『事例で学ぶNetモラル』を使ったワークショップを実施。収録されている教材を見て、先生方に年間指導計画を考えてもらいました。

年間計画を立てる時によく使われたのが、『事例で学ぶNetモラル』に収録されている「ネットモラルけんてい」。まず子供にこの検定を受けさせ、課題を把握した上で、教材を選び授業計画を立てるパターンと、教材で学んだことが定着したかを確認するために最後にこの検定を受けさせるというパターンが見られました。

③「しなのき通信」で利用を呼びかけ
市教委が隔週ペースで発行している「しなのき通信」で、『事例で学ぶNetモラル』の使い方と授業展開例を定期的に紹介し、授業での利用を呼びかけています。

④指導主事による出前講座を開講

指導主事が講師として学校に赴き、情報モラル教育の研修会を行っており、多くは授業参観日に合わせて行われます。児童生徒がスマホやネットを利用するのは、学校外が中心ですので、家庭の協力が不可欠。保護者がペアレンタルコントロールやフィルタリングなどの大切さを理解し、家庭で正しく指導してほしいと願っています。

昨年度はアクセス数が1万件に。 今後も学校に 働きかけていく

このような取り組みのおかげで、『事例で学ぶNetモラル』のアクセス数も着実に増えており、昨年度は小中学校合わせて一万件にも達しました。今後はより一層、利用件数を増やし、年間を通して指導してもらえるように働きかけていくつもりです。

情報モラル教育は、待ったなしの課題です。今後は、一人一台のタブレットPCが学校に入ってくることも考えられますから、「子供にはスマホやネットは使わせない」という禁止教育は、もう通用しません。安全に、そして上手に使う方法を、学校で教えないなら時代なのです。

長期休み前に子どもたちに指導しておきたいこと

この機会に！ 事例で学ぶNetモラルを活用しましょう

いまや子どもにも身近なものとなったインターネット。時間にゆとりができる夏休みや冬休みなどの長期休みには、友達同士の連絡に使ったり、ネットサーフィンをしたりと、普段よりもインターネットを利用する時間が増える可能性があります。とても便利なインターネットですが、知識や経験の浅い子どもたちにとっては、多くの危険やリスクをはらんでいます。この機会に、改めて情報モラル指導について考えてみましょう。

子どもたちの周りには「インターネットの危険な落とし穴」がいっぱい！

自分専用の
ネットに繋がる機器を
持っている子どもは
80%以上!!



個人が特定される
情報をSNSなどに
投稿する



やめたくても
やめられない!!
スマホの依存傾向



有害な情報が
たくさんあふれている
インターネット



出会い系サイト、
コミュニティサイト、
SNSなどでも
犯罪被害が増加中!



情報モラルの指導を
しないといけないとは思
うけど、何からどう
したらいいものか...



小学5年生担任

A先生の場合



どこから手をつけてい
か迷う場合は...
「選んで簡単!
ネットモラル」

そうそう! SNSなど
の利用で知らない人
に会いに行かないよ
うに教えなくちゃ!



A先生が選んだのは...



A-04

ネット上で知り合った人
との約束は危険

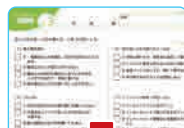
対象 小学5~6年、
中学生)

まずは子どもの実態
をつかんで、子ども
に合わせた指導を
したいんだよね。



中学1年生担任

B先生の場合



「ネットモラル検定」
の問題用紙をプリントし、
朝礼の時間を使って簡単
なテスト!

電子掲示板は
①一度書き込んだ情報は、自分で消せない
こともある。
②書き込んだ人が誰かわからない。
③書き込み内容が不適切だと気づいたら
消すことができるので、気軽に書ける。
④誰が書き込んだのか調べることはできな
い。

この問題、
分かっていない子が
多いな...



B先生が選んだのは...



B-23

不適切な書き込み

対象 小学5~6年、
中学生

スマホやケータイは持っ
ていない子どもがほとん
どだけど、持つ前から情報
モラル指導はしないとな!



小学校2年生担任

C先生の場合



「事例検索」
を使えば、「学年別」「内
容別」「教材タイプ」で検
索できます。



そういえば長い休みは、
るすばんする機会も増
えるわね。



C先生が選んだのは...



A-20

個人情報を守る

対象 小学1~4年

👍 その他おすすめの教材



A-22

スマホで課金

(対象:小学5~6年、中学生)



A-23

トークアプリ依存

(対象:小学5~6年、中学生)



B-24

写真の投稿

(対象:小学5~6年、中学生)



A-19

安全なネットの使い方

(対象:小学1~4年)



A-21

携帯ゲーム機

(対象:小学5~6年、中学生)

広教ニュースレター は、情報モラルや情報教育に関する
ニュースや授業実践、また最前線でご活躍されている先生
方の寄稿や対談などを掲載するニュースレターです。

広島県教科用図書販売株式会社
〒733-0032 広島県広島市西区東観音町15番12号
TEL 082-291-1088 FAX 082-291-1082
URL <http://www.hirokyou.co.jp> E-mail info-hiroshima@hirokyou.co.jp

広教
HIROKYO